

仏像探訪

京都・蓮華王院 三十三間堂
千手観音立像

イラスト 佐藤 郷子

千の仏様のパワー

平安の都人には
届いたでしうか

千手観音立像で知られる

蓮華王院 三十三間堂。

本尊の左右には10段5列に500体ずつ

合計千体もの千手観音が並び、

その荘厳さに誰もが言葉を失います。

千の手によって無数の願いを叶え、

人々を救うとされる千体の千手観音立像。

お堂には

「会いたいと願う人の顔が必ずある」と

不思議な言い伝えがあるそうです。

この夏、二体一体に語りかけ、

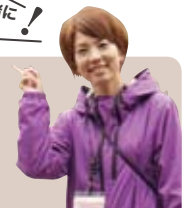
会いたい人を探しに訪れてみませんか。

【見仏路のこだわり】

①たっぷりとは観時間をお取りします！②専門知識を持った案内人が同行致します。③特別公開(イベント)の期間にあわせて設定致します。

No.620-014 《京都・蓮華王院 三十三間堂 千手観音立像》

人気の東寺の「曼荼羅」や三十三間堂の迫力ある「千手観音立像」を訪ねます

大河ドラマ「平清盛」ゆかりの地に行く、
平家の本拠地「六波羅蜜寺」と
三十三間堂の千体仏に会いに行く京都の仏像と一緒に
見に行きましょう！仏像の専門知識を
持った
ハミングー押し！
「政田マリ」ガイド
が同行致します。

8/16(木) 1名様1室 28,800円

7/15(日) 1名様1室 29,800円

- 1 中条(5:30)＝新発田＝新潟＝三条＝長岡＝三十三間堂(壇上に整然と並ぶ等身大の1000体の千手観音立像は圧巻！)＝六波羅蜜寺(空也上人が創建し、平家の拠点となったお寺)＝京都市内(泊)
- 2 ホテル＝東寺(日本最古の密教仏が揃う曼荼羅の世界へ)＝今熊野観音寺(柔和な表情が魅力的な十一面観世音菩薩立像)・・・泉涌寺(国の文化財に指定された「楊貴妃観音」は世界三大美女をモチーフに作られた)・・・戒光寺(「本尊丈六釈迦如来像」は別名、身代わり観音と呼ばれる)・・・即成院(阿弥陀如来と二十五菩薩を特別拝観)＝上越(20:00)＝長岡＝三条＝新潟＝新発田＝中条

【宿泊】京都市内:7/15発 京都第一ホテル(洋)又は同等クラス 8/16発アパホテル京都駅堀川通(洋)又は同等クラス

みどころ
ポイント

■ 7/15 出発は「京都祇園祭」開催中！

京都の三大祭に数えられる祇園祭。山鉦鉦形
堤灯に明かりが灯り、祇園喋りが流れ、京都の
街中は夜遅くまでお祭りムード一色です。

京都祇園祭イメージ

■ 8/16 出発は「五山送り火」が開催中！

お盆を迎えた先祖の精霊を送る為、夏の夜空
をいろどる五山送り火。祇園祭とともに京都
の夏を代表する風物詩の一つです。

五山送り火イメージ

一
弁
一
軽
屋

No.404-002 《岩手／中尊寺・一字金輪仏頂尊》

「人肌の大目」と親しみ敬われる秘仏に会いに、世界遺産「平泉・中尊寺」を現地ガイドと巡ります

秘佛の中の秘佛が御開帳！
「一字金輪仏頂尊」に会いに
世界遺産「平泉・中尊寺」を訪ねる

7/18(水) 9,300円

7/29(日) 9,800円

- 1 長岡(5:00)＝三条＝新潟＝新発田＝中条＝関川＝世界遺産・中尊寺(7月17日より
ご開帳が始まる「一字金輪仏頂尊」をはじめ、金色堂や境内のお堂、仏像などを約3時
間ガイドが詳しくご案内)＝関川(20:15)＝中条＝新発田＝新潟＝三条＝長岡

※讃衡蔵と金色堂内にある仏像は、ガイドが中に入ることが出来ないため、外で案内をしてから見学していただきます。

みどころ
ポイント

①中尊寺境内のお堂や仏像等を現地ガイドと一緒にゆっくり約3時間ご案内致します。

②期間限定でご覧頂ける秘佛「一字金輪仏頂尊」は12年ぶりの御開帳で、国の重要文化財に指定されています。白
肉色に彩色され、優しく引かれた眉と朱の唇の美しさから「人肌の大目」と親しみ敬われる秘佛はまさに必見です！

「一字金輪仏頂尊」イメージ © 中尊寺

ハミングタイム春号で大好評！「大和路秀麗八十八面観音巡礼」の第二弾を11/10(土)、11/20(火)に行きます。詳細は秋号にて発表いたします。

Lesson12 仏様の目の形 チョット知っておくと楽しさ倍増！見仏路ワンポイント講座開設

仏像様の目には、制作時期が色濃く表れており、目の形や技法に注目すると仏像様の作られた時代が浮かび上がってきます。
そんな時代を反映する仏像の「目の形」を今回はご紹介致します。天地眼
(てんちがん)(例)不動明王像：峯定寺
平安時代中期に登場した忿怒相の
目のひとつ。左目を閉じるか半眼
とし、右目を見開く。御霊調状
(おんりょうちょうぶく)(例)薬師如来：神護寺
奈良時代末期に登場した、上まぶ
たが厚く、厳しい眼差し。災いを
もたらす霊を鎮める。二重
(ふたえ)(例)宝菩提院願徳寺：菩薩半跏寺
奈良時代に多く登場した、目を大
きく見開き、にらみつける天部の
相。明王にも共通。